

南木曾町豪雨災害について

平成26年7. 9南木曾町豪雨災害から



平成26年度 7・9南木曾町豪雨災害 【被害状況等】

○ 災害発生場所

南木曾町読書東町(なぎそまちよみかきあずまちょう) 【梨子沢 (なしざわ)】

を中心に町内各地で発生

○ 災害発生日時 (梨子沢土石流)

平成26年7月9日(水) 午後5時40分頃

○ 気象概要(平成26年7月9日の大雨に関する長野県気象速報より)

7月9日、台風第8号は15時には九州の西を北東に進んでいた。一方、朝鮮半島から東北地方に停滞する梅雨前線に向かって、南から暖かく湿った空気が入り、関東甲信地方では大気の状態が非常に不安定となった。

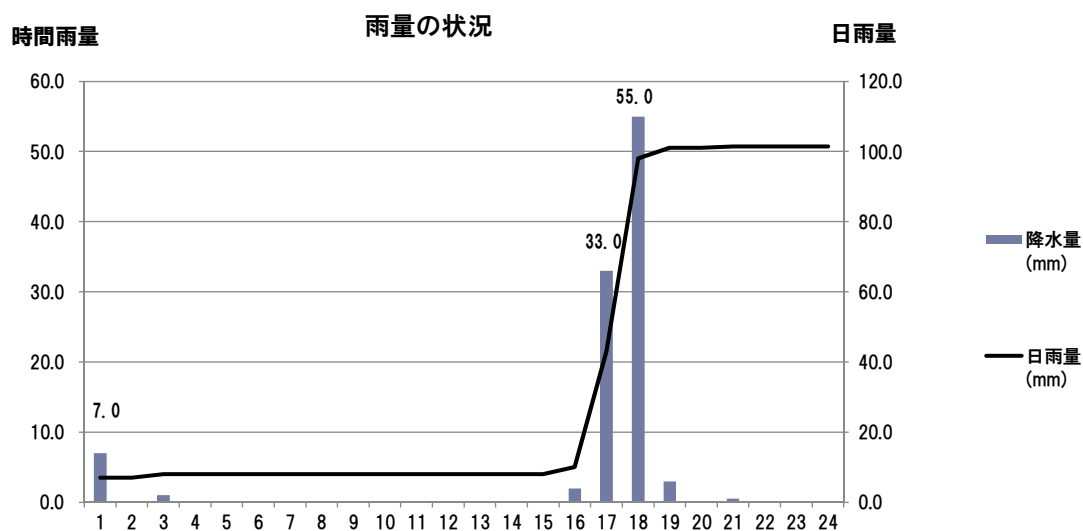
このため、昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて、県内の所々で積乱雲が発達し、雷を伴った非常に激しい雨が降った。特に、南木曾では17時40分までの前1時間に70.0ミリの非常に激しい雨を観測した。

また、解析雨量では南木曾町付近で、17時30分までの前1時間に約90ミリの猛烈な雨を解析した。

災害直後の状況



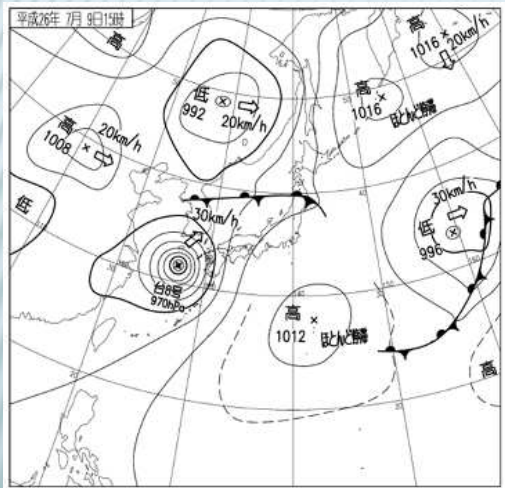
当日の気象状況 (長野気象台上の原気象観測所)



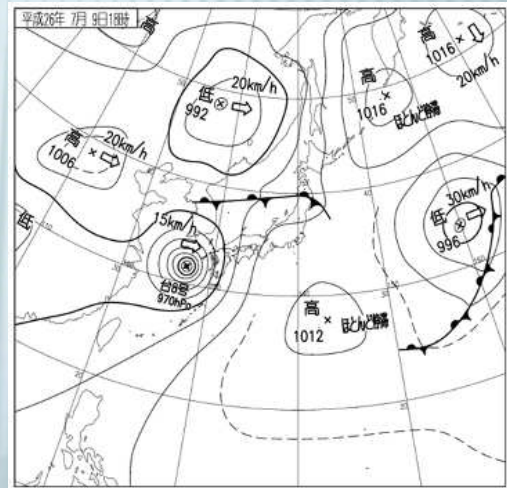
16 : 40 ~ 17 : 40 の時間雨量は 70mm

当日の気象状況

7月9日の予想天気図
(平成26年7月9日の大雨に関する長野県気象速報より)



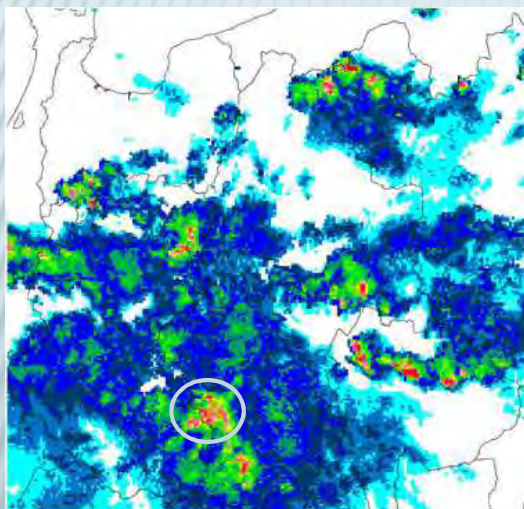
15時時点



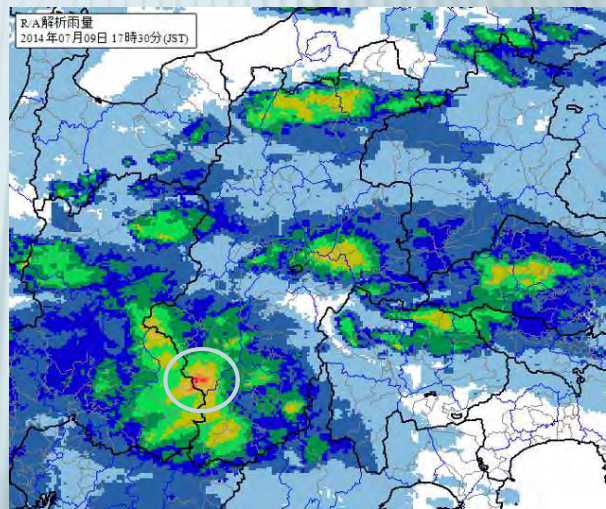
18時時点

当日の気象状況

7月9日のレーダー図・解析雨量図
(平成26年7月9日の大雨に関する長野県気象速報より)



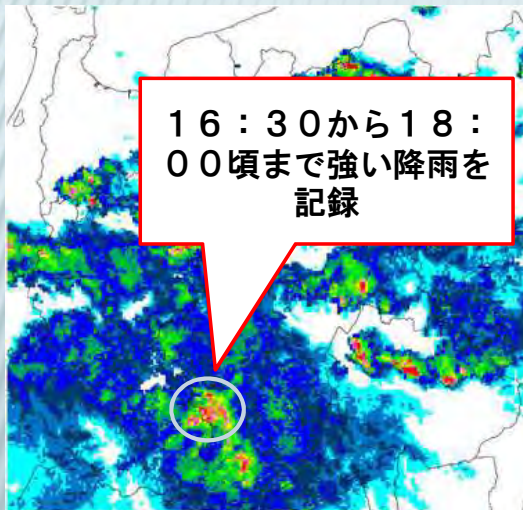
17時30分レーダーエコー



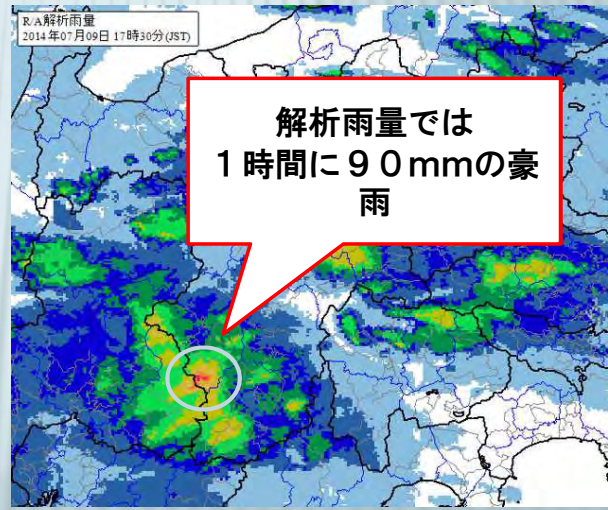
16時30分～17時30分解析雨量

当日の気象状況

7月9日のレーダー図・解析雨量図
(平成26年7月9日の大雨に関する長野県気象速報より)



17時30分レーダーエコー



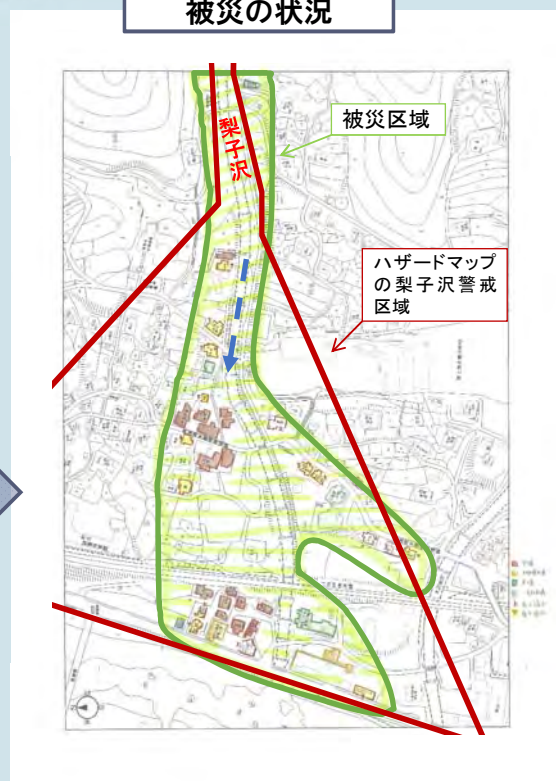
16時30分～17時30分解析雨量

災害による被害の状況

河川の状況



被災の状況



被害の状況 1

(1) 人的被害

死者	軽傷	合計
1人	3人	4人

災害に伴う消防署の救急
出動件数 3件

(2) 建物被害

区分	住家			非住家		合計
	棟	世帯	人員	空家	工場・事業所等	
全壊	10棟	10世帯	20人	3棟	3棟	16棟
大規模半壊	0棟	0世帯	0人	0棟	3棟	3棟
半壊	0棟	0世帯	0人	0棟	3棟	3棟
一部損壊	3棟	3世帯	5人	0棟	2棟	5棟
床上浸水	3棟	3世帯	15人	1棟	1棟	5棟
床下浸水	6棟	7世帯	17人	2棟	4棟	12棟
計	22棟	23世帯	57人	6棟	16棟	44棟

被害の状況 2

(2) 道路

区分	規制内容	解除日時
国道	国道19号	土砂流入通行止(三留野大橋～柿其橋)
県道	国道256号	土砂崩落通行止
	飯田南木曾線	雨量規制通行止
	南木曾停車場線	梨沢橋落橋による通行止
町道	細の洞線	細の洞橋落橋による通行止
	大原線	梨子沢橋落橋による通行止
	島の平中線	島の平橋損壊による通行止め
	胡桃田線	胡桃田橋橋台洗掘
	東町下線	全線土石流入による通行止
		など町道28箇所、橋梁4箇所被災

被害の状況 3

(4) 上下水道施設

区分		被害	復旧状況
簡易水道施設	三留野	取水口・水管橋5本流出、断水279戸	仮復旧済み
小規模水道施設	胡桃田	取水口埋没、断水19戸	仮復旧済み
町管理個人浄化槽	三留野	土砂流入による機能不全12基	11基復旧済み

(5) 町営住宅関係

区分	被害
東町団地	町営住宅2棟4戸土砂流入
天白団地	団地下付近で法面崩落

被害の状況 4

(6) 河川

被害箇所	被害状況	解除日時
国管理	梨子沢砂防えん堤	2基破損
	梨子沢小水力発電施設	1式破損
県管理	梨子沢砂防えん堤	1基破損
	梨子沢溪流工	破損1式
	梨子沢内の橋梁	1基流出
町管理	梨子沢、蛇抜沢、大沢田川、地藏沢、米山沢、砂地沢、与の洞、平家洞など14箇所で被災	

被害の状況 5

(7) 農地・農業用施設

区分		被害箇所	区分	被害箇所	
農地	田	9箇所	農業用施設	頭首工	12箇所
	畑	19箇所		水路	19箇所
	計	28箇所		ため池	1箇所
農業用施設	農道	7箇所		計	39箇所

(8) 林業関係

被害箇所	被害状況	解除日時
作業道	井戸沢、二の沢町有林	道路上倒木 (約60本)
林道	長根線(法面崩落)・袖山線(法面崩落、転石)・梨子沢線(路体流出、法面崩落、転石、倒木)・日向平線(路面洗掘)・細野山線(法面崩落、路肩崩落)	

被害の状況 6

(9) 消防・管理関係

区分	箇所	被害
防火水槽	東町集会所横	土砂流入、排水管損壊
	橋場細野山	取水管破損により取水不能
消防施設	東町	消火栓、収納箱4箇所破損
集会所	東町集会所	床下浸水
作業道	押手作業道	押手大堰堤付近作業道での路面洗掘

(10) 電気・通信関係

区分	箇所	被害
電気	中部電力、梨子沢周辺約50戸停電	7月15日
電話	NTT、梨子沢から北側(北部の一部まで)固定電話不通	7月12日
CATV	木曾広域CATVケーブル断線により南木曾小学校上約20戸不通	7月12日

被害の状況 7

(11) 交通関係

区分	被害	規制区間	復旧状況
JR中央西線	橋梁流出 運休	中津川～上松	7月14日から代行バス（坂下～野尻） （8月6日復旧・運転再開）
JR特急しなの	運休	名古屋～長野	復旧までの間、運転取りやめ
地域バス	運休	全線	7月14日運行再開

(12) 登山道・公園

区分	被害
南木曾岳	登山道崩落など約10箇所被災
河川公園	蛇抜沢の土砂が桃介橋河川公園へ堆積

被害の状況 8

(13) 文化財・生涯学習・学校

区分	箇所	被害
中山道 （国史跡）	妻籠、与川 （26箇所）	路面洗掘、路肩崩落等
公民館	三留野分館	土砂流入による床下浸水、相撲場損壊等
	与川分館	玄関前陥没
	妻籠分館	分館水路陥没
学校	小学校	プールフェンス損傷

被災状況写真 1



家屋の被災状況

被災状況写真 2



JR線土砂流入



JR線橋流失

中央西線の被災

被災状況写真 3



土砂で押し流された車両等

被災状況写真 4



町道橋梁流失(青線)



国道19号土砂流入

被害の状況 9

総被害額 (町所管分のみ) 総被害額 1,337,900千円

(復旧事業見込み額826,000千円)

区分	箇所	被害額	区分	箇所	被害額
道路・橋梁	32箇所	193,100千円	林業施設	10箇所	66,000千円
河川	14箇所	28,400千円	上下水道	3施設	75,000千円
農地・農業用施設	67箇所	920,000千円	その他	14施設	55,400千円

学校等への影響

区分	休園・休校日
町立読書保育園	7月9日、10日、11日臨時休園
町立南木曾小学校	7月9日、10日、11日、14日臨時休校 (蘇南高校では災害当日帰宅不能になった生徒が翌日まで学校で待機した)
町立南木曾中学校	
長野県蘇南高校	

※7月17日付けで保育園、小・中学校の保護者あてに避難勧告発令時の避難方法のお知らせを配布

避難勧告等 1

日 時	内 容	備 考
7月9日 16時19分 17時40分 17時45分 17時50分 18時16分 23時00分	大雨洪水注意報発令 国交省より梨子沢土石流発生 of 通報 梨子沢に土石流発生を現地で確認 南木曾町災害対策本部設置 梨子沢周辺に 避難指示 、本部分団出動 大雨洪水警報発令 三留野地区全域に 避難勧告 発令 蘭・妻籠地区に避難準備情報発令 土砂災害警戒情報 災害救助法適用	雨量 70mm/h (16時40分～17時40分、 気象庁上の原観測所デー タ) 22時40分避難勧告一部 (木曾川右岸地区)解除、 避難準備情報解除
7月10日 11時46分 14時38分 16時48分	避難再勧告 (坂の下、東町、住吉町 東栄町、和合北、和合南) 避難再勧告 (南栄町) 大雨警報、洪水注意報発令	
7月11日 9時00分 17時00分 17時11分	避難勧告一部解除 土砂災害警戒情報解除 大雨警報解除	上の原、新町、上仲町、下 仲町、神戸解除

避難勧告等 2

日 時	内 容	備 考
7月12日 8時30分	避難指示、避難勧告全域解除	
7月13日 16時33分 17時30分	大雨洪水注意報発令 避難準備情報発令(坂の下、東町)	
7月14日 5時31分 9時53分	大雨洪水注意報解除 避難準備情報解除	
7月19日 14時13分 14時31分	避難準備情報発令(坂の下、東町) 避難勧告発令 (坂の下、東町)	
7月20日 7時10分	避難勧告解除	
7月22日 9時00分	被災者生活再建支援法適用	り災証明の発行開始
7月27日 11時21分 15時頃	避難準備情報発令 最終避難者退去(町営住宅へ)	13時42分解除
7月28日 10時00分	災害対策本部を解散して復興対策本部に切替	
8月11日 5時30分	避難勧告発令 (坂の下、東町)	解除15時00分
8月12日 9時50分	避難勧告発令 (坂の下、東町)	解除17時00分
8月16日 15時10分	避難勧告発令 (坂の下、東町)	解除17日6時00分
10月5日 23時50分	避難勧告発令 (坂の下、東町)	解除6日13時30分

避難所関係(被災時)

(1) 避難対象者数：673世帯1,645人（三留野地区）

(2) 避難所：7月9日開設

（※最終避難者は7月27日をもって退去、避難者数最大時 241世帯534人）

No.	施設名	地区名	No.	施設名	地区名
1	南木曾町役場	住吉町	7	下仲坂の下集会所	下仲町、坂の下
2	南木曾町小学校	東町	8	神戸の杜	神戸
3	南木曾町森林組合	下仲町、坂の下	9	妻籠分館	妻籠
4	蘇南高校	天白	10	南木曾会館	渡島
5	社会体育館	沼田、東栄町、南栄町	11	新町集会所	新町
6	川向集会所	川向	12	上の原（個人宅）	上の原

避難所関係(被災後避難勧告)

(1) 避難対象者数：115世帯282名（坂の下・東町地区の発災当時世帯数）

(2) 避難所：下仲町坂の下集会所、読書小学校）

発令日時	避難世帯数	避難者数	発令事由	解除日時
7月19日 14：31	27	54	14：00～14：30 13mm (14：00～15：00 16mm)	7月20日 7：10
8月11日 5：30	17	25	3：20～4：20 11mm (早朝のため5：30勧告)	15：00
8月12日 9：50	11	18	9：30までの連続雨量53mm (～11：00 63mm)	17：00
8月16日 15：10	7	14	14：20～15：20 24.5mm	8月17日 6：00
10月5日 23：50	14	24	23：40までの連続雨量80mm (6日 7：30までの連続雨量101.5mm)	10月6日 13：30

避難所関係



救援水の配分状況



避難所知事内閣府の激励

梨子沢付近の避難勧告基準の見直し

7月14日開催の「南木曾町梨子沢における土砂災害警戒避難に関する検討会（委員長：信州大学平松教授）」の報告をもとに、同日の災害対策本部会議で当面の梨子沢流域に関する避難勧告基準を見直した。15日、29日付で東町・坂の下地区の住民へは基準を全戸配布にて周知。

（1）避難勧告基準（基準は必要な都度 委員会で見直し）

- ① 7月14日付基準 時間雨量10mm以上又は連続雨量50mm※以上 いずれかを観測した場合
- ② 7月28日付基準 時間雨量20mm以上又は連続雨量50mm以上 いずれかを観測した場合
- ③ 8月15日基準 時間雨量20mm以上又は連続雨量80mm以上 いずれかを観測した場合
- ④ 8月19日基準 時間雨量30mm以上又は連続雨量80mm以上 いずれかを観測した場合
- ⑤ 10月16日基準 時間雨量30mm以上又は連続雨量120mm以上 いずれかを観測した場合

（2）避難勧告解除基準

- ① 7月14日付け基準 雨が止んでから12時間連続無降雨を観測した場合
- ② 7月28日付け基準 雨が止んでから6時間連続無降雨で以後3時間の無降雨予想の場合
- ③ 10月16日付け基準 雨が止んでから3時間連続無降雨で以後3時間の無降雨予想の場合

※勧告範囲は、梨子沢に係る土砂災害警戒区域住民

※雨量の経験値、上部の砂防施設の整備状況により状況をみながら緩和措置を講ずる

こととなっている

災害ボランティア・義援金

(1) 南木曾町災害ボランティアセンター

- ・運 営 社会福祉法人南木曾町社会福祉協議会
- ・場 所 南木曾会館
- ・経 過 開設：7月11日18時 活動開始：7月12日13時
閉鎖：7月19日24時

※ボランティアの受け入れ延1,062人、支援物資の受入など

(2) 義援金受付（12月17日の配分委員会で151,923千円を配分）

受付開始：平成26年7月16日～平成27年3月31日

受付方法：<役場窓口>又は<金融機関>八十二銀行（16日～）、
ゆうちょ銀行又は郵便局・木曾農業協同組合（18日～）

消防団による活動



消防団による危険家屋の土砂除去

災害ボランティア活動



ボランティアセンターでの打合せ



土砂等の除去活動

災害対策本部

災害発生直後から、全庁をあげて災害対策本部を設置し、消防団・県・国・警察・森林管理署にも参加いただく中で、日28回開催。

7月28日10時を持って「7.9南木曾町豪雨災害 復興対策本部」に切替えた。

発災当時は、町対策本部員であったが、消防団長、派出所長、国土交通省、森林管理署南木曾支所、木曾地方事務所



災害対策本部



マスコミへの情報提供

災害対策本部

災害発生時は、南木曾町職員による災害対策本部であったが、消防団、派出所、国土交通省、森林管理署、木曾地方事務所にも参加いただき、直接協議による迅速な対応を図った。

7月28日10時を持って「復興対策本部」に切替えるまで28回の対策本部会議を開催した。



内閣府による現地調査への対応



消防団会議

国土交通省 TEC-FORCE 活動



災害調査



仮設橋架橋

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは、大規模自然災害に対応するため、被災自治体等が行う被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために国土交通省に設置された組織です。

砂防施設の土砂捕捉状況

(大梨子沢第2砂防堰堤の状況)



発生前 H26. 6



発生後 H
26. 7. 10

H26. 7. 9発生の災害では大梨子沢の県砂防堰堤で約26,000 m^3 、国の第2砂防堰堤で約54,000 m^3 、小梨子沢の国の第1砂防堰堤で約5,000 m^3 を補足、それを超えた約46,000 m^3 のうち約19,000 m^3 が市街地に堆積したとみられています。

国土交通省の監視カメラ（CCTVカメラ）が捉えた土石流の映像

<平成26年7月9日17時41分15秒～23秒>



17時41分15秒



17時41分15秒



17時41分21秒



17時41分23秒

27.7.9 災害1周年 献花式



同級生による献花



同級生による合唱

「悲しめる乙女の像」



昭和28年当時の読書中学校の付近の伊勢小屋沢で土石流に発生。当時の中学の先生のご家族が災害の犠牲となり、それを偲んで造られたものであります。

今も中学生が定期的に清掃をして、管理しています。

俚諺

白い雨が降るとぬける／尾先(おさき)
谷口 宮の前／
雨に風が加わると危ない長雨後 谷の水
が急に止まったらぬける
蛇ぬけの水は黒い／蛇ぬけの前はきな臭
い匂いがする

災害への支援へのお礼



郡内町村長



県町村会長

今回の災害では、県内外から多数の見舞いや義援金のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

平成27年11月10日現在 災害復旧状況 (1)

人家等へ被害のあった、梨子沢下流域については、線路、町道、流路工の復旧が進み、元の生活を取り戻している。



災害当日の梨子沢下流域



H27.11.10の梨子沢下流域

平成27年11月10日現在 災害復旧状況 (2)

土石流により、大きな被害を受けた砂防堰堤も復旧が進んでいます。



被災当時

梨子沢1号砂防堰堤



H27.9月現在

平成27年11月10日現在 災害復旧状況 (3)

土石流により、通行不能となった町道橋についても復旧が進んでいます。

町道 島の平橋



被災当時



H27.11月現在